

《団体の概要》

団体名	特定非営利活動法人ステップベース
ホームページ	https://www.sukusukustep.org/
設立年月日	平成28年 5月 30日 設立
会員数	11人
年会費	0円/1年間
団体の目的	この法人は、放課後等において保育を必要とする小学生を対象にし、学童保育事業（放課後児童健全育成事業）および児童福祉法に基づく障害児通所支援事業を行うとともに、地域の子どもの健全やかな成長と豊かな地域社会づくりに寄与することを目的とする。
主な活動実績	<p>放課後等デイサービス すくすくすてっぷ （住所 ██████████） 生徒数 26名（2021年4月23日時点）</p> <p>2017年度サマーフェスティバル（2017年6月24日開催） 参加者数 52名</p> <p>2017年度ウインターフェスティバル（2017年12月16日開催） 参加者数 69名</p> <p>2018年度サマーフェスティバル（2018年6月30日開催） 参加者数 117名 障がい児（通所者） 7名 保護者（通所者）12名 障がい児（通所者以外）4名 保護者（通所者以外）9名 軽度障がい児（外部） 6名 保護者（外部）保護者3名、 同世代児童13名、保護者8名 スタッフおよびゲスト15名、ボランティア6名、 近隣住民 18名、関連福祉団体関係者 11名 行政・議員 5名</p> <p>2018年度ウインターフェスティバル（2018年12月22日開催） 参加者数 55名 障がい児（通所者） 8名 保護者（通所者）11名 スタッフおよびゲスト 30名 近隣住民 3名</p>

	<p>議員 1名 特別支援学校教諭 2名</p> <p>2019年度サマーフェスティバル(2019年7月15日)</p> <p>【参加者】139名</p> <p>障がい児(通所者)9名 保護者(通所者)13名 同世代児童(出演者)3名 同世代児童(来場)4名 障がい児(通所者以外)1名 保護者(通所者以外)1名 軽度障がい児(外部)33名 スタッフ及びゲスト30名 ボランティア10名 近隣住民30名 関連福祉団体関係者3名 行政・議員2名</p> <p>2020年度については、新型コロナウイルスの影響により関係者のみにて実施。</p>
<p>昨年度の補助金等の援助状況</p>	<p>昨年度は自費にて実施。</p>
<p>団体PRなど</p>	<p>当団体が運営する「すくすくすてっぷ」は、児童福祉法に基づく、障害を持つ子どもたちのための放課後等デイサービスです。</p> <p>障害を持った子どもたちは決して特別な存在ではありません。嬉しいことに喜び、悲しいことに泣き、楽しいことに興味を持ちます。一人前の人間でありたいと願い、周囲の人間に認められる人間となるべく、色々なことにチャレンジします。</p> <p>彼らが当施設をとおして大きく成長できるよう、スタッフ一同、日々子どもたちと向き合って運営しています。</p>

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性

・障害をもった子どもたちが音楽、スポーツ、製作等の体験をとおして、自ら頑張った成果を人前で発表し、人に認められる喜びを感じる経験とすることを目的とします。なぜなら、特別支援学校において同年齢及び家族などの関係者に対して発表する機会がありますが、異年齢における役割の確保及び他者から褒められる機会を得ることが重度障害児において非常に少ないからです。

・健常者が障害を持った子どものことを知る機会とし、障害の理解を深めることを目的とします。なぜなら、障害を持った人や児童を日常生活で目にする機会が少なく、障害児の現状を知る機会が非常に少ないため、障害に対する理解が進まず誰もが活躍できる社会への妨げとなっているからです。

・オンラインボッチャとは…ランプ（スロープ）をオンラインにて制御することにより、だれでもどこでもボッチャに参加することができる装置および競技名です。ZOOMとタブレット（スマートフォン）のコントローラーを用いて、自宅などから競技に参加することができます。本事業ではこちらの機器を使うことによって現場の障害児と遠隔地の児童との交流を行います。

参考 URL…<https://www.sukusukustep.org/onlineboccia>

2 事業を実施するに当たっての現状や課題

我々は2018年及び2019年にサマーフェスティバルを開催し、100名を超える動員を達成することが出来ました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により2020年度は関係者のみでの開催となり、2021年度現在においてもその脅威は継続しています。1か所に多くの人が集まるイベントに頼ることなく目的を達成できる手法を用いる必要があります。

3 事業の具体的内容

【事業概要】

当団体の生徒である障害を持った子どもたちを出演者とするシンデレラを題材とした演劇の実施。また、遠隔地の障害児たちとともにパラリンピック競技にもなっている「ボッチャ」を特殊な装置を使用してオンラインにて実施し YouTube 上にて配信する。

【実施日】 2021年8月 13時00分開会予定

【実施場所】 上戸田地域交流センター ホール

【実施プログラム】

13時00分～ すくすくすてっぷ生徒による演劇「シンデレラ」

13時30分～ ボッチャ大会

14時30分 閉会

【参加対象者】

すくすくすてっぷ及び遠隔地の児童たち並びに YouTube 視聴者

【講師】 ████████ 様 (役者)

※上記講師には当日に至るまでの演劇の指導及び当日の出演料として謝礼金を支払予定。

4 事業の実施体制

【講師】 ████████ 様

→当日に至るまでの児童への指導及び当日の出演

5 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
4月16日	講師への出演依頼及び打ち合わせ
5月6日	告知開始
5月6日	衣装作成、演劇の練習開始
6月1日	舞台セットの製作開始
8月	事業実施
9月30日	事業の開催結果の広報配布

6 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

本事業への参加者数リアル参加40名 動画回数100名を目標とする。

<動員目標内訳>

- ・すくすくすてっぷ生徒及びその保護者 30名
- ・オンラインボッチャ参加者 10名

<動画再生回数>

- ・動画回数 100回

<チラシ配布先>

- ・戸田市内の相談支援事業所
- ・上戸田地域交流センター
- ・戸田市内の小学校
- ・公共施設など

7 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

一昨年度までは、クラウドファンディングや寄付金、協賛金を募り事業を実施してきました。これまでの取り組みが評価され、大学や学童保育室への障害の理解についての講演や一般社団法人が立ち上がるなど目覚ましい発展を続けています。本年はそうした活動のつながりを利用して事業を行い、事業の継続・発展を目指します。

《収支予算書》

【収入】

科目		予算額	内訳
補助金・助成金	当補助金	120,000	
	その他		
自己資金		70,000	
会費			
利用者負担金			
協賛金・寄附		60,000	
その他			
合計		250,000	

【支出】

	科目	予算額	内訳	
補助対象経費	謝礼金	100,000	■■■■様 10万円	
	消耗品費	53,020	衣装代 シンデレラ役 3000円×9名 魔法使い役 2000円×8名	
			小道具代 ベニヤ板 500円×6 模造紙 500円×6 その他 4020円	
			印刷製本費 48,600	パンフレットデザイン費及び印刷代
			使用料 17,120	上戸田地域交流センター 施設使用料
	通信費	1,260	切手代(チラシ郵送費) 84円×15	
	委託料	30,000	Studio.ao	
小計		250,000	内訳 補助金申請額：120,000 自主財源：130,000	
補助対象				

外 經 費			
小 計		0	
合 計		250, 000	